

患者の皆様へ

令和2年3月27日
糖尿病代謝内分泌内科

現在、糖尿病代謝内分泌内科科では、「ステロイドマッピングを用いた副腎癌・両側副腎性大結節性過形成・副腎腺腫のステロイド代謝産物解析」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では(2009年から2019年の間の副腎腫瘍)の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「ステロイドマッピングを用いた副腎癌・両側副腎性大結節性過形成・副腎腺腫のステロイド代謝産物解析」

2. 研究の意義・目的

「副腎腫瘍は副腎癌、良性の副腎腺腫、両側副腎皮質大結節性過形成（PMAH）に分類される。副腎癌においては **steroid disorganization** が知られており、コレステロールからコルチゾール・アルドステロン・副腎性男性ホルモン産生過程の中間代謝ステロイド産物が増加することは広く知られますが、その意義や予後との関連性は不明な点が多いです。そこで本研究では副腎腫瘍におけるステロイド代謝産物を検討しステロイド産生能や病態・予後との関連性を検討することを目的とします」

3. 研究の方法

「2009年4月～2019年12月に千葉大学医学附属病院で **rapid ACTH** 負荷試験を行い負荷前後のステロイド代謝産物測定を測定している患者さんを対象に、病歴、ホルモン値、画像所見、予後を副腎疾患ごとに比較検討します」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院内分泌研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科

医師 鈴木佐和子

043（222）7171 内線 5255